

平成28年火災・救急・救助概要（概数）

小松市消防本部

火災概要

消防本部開設以来、平成26年と同数の最少火災件数を記録

平成28年の総出火件数は8件で、昨年と比べると6件の減少となりました。
建物火災は6件で昨年と比べると6件の減少、そのうち住宅火災（専用住宅、共同住宅及び併用住宅）は5件で、昨年と比べると6件の減少となりました。

また、火災による死傷者は住宅火災による死者が1人発生し、負傷者は火災全体で6名発生しました。

出火原因別にみると、たばこ、電気器具、放火が各1件、他の原因が5件となっています。
損害額については昨年より増加しております。

住宅用火災警報器の設置については、住宅火災5件のうち2件に設置されていました。

区分		年	平成28年	平成27年	増減
火災件数	合計		8	14	▲ 6
	建物火災		6	12	▲ 6
	林野火災				
	車両火災		1	1	
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他火災		1	1	
焼損棟数			7	12	▲ 5
り災世帯数			5	12	▲ 7
面焼積損	建物床面積（㎡）		※ 224	593	※ ▲ 369
	建物表面積（㎡）		※ 1	2	※ ▲ 1
	林野（a）				
損害額（千円）別	合計		※ 24,394	16,389	※ 8,005
	建物		※ 24,137	16,147	※ 7,990
	車両		257	232	25
	航空機				
	その他			10	▲ 10
死者数			1	1	
負傷者数			6	2	4
火災発生間隔日数（日）			45.6	26.1	19.6
焼火損元程度物	全焼		1	2	▲ 1
	半焼		2	1	1
	部分焼		1	7	▲ 6
	ぼや		2	2	
爆発					
火災原因	放火・放火の疑い		1	1	
	こんろ			2	▲ 2
	たばこ		1	3	▲ 2
	煙突・煙道			2	▲ 2
	上記以外		6	6	
住宅用火災警報器設置件数（ ）は住宅火災件数			2(5)	5(11)	

※ 平成28年第8号火災は調査中であり、焼損面積、損害額は第7号火災までの数値です。

救急概要

平成28年の救急出動件数は3,694件で、過去最多となった前年に比べ75件減少しました。

1日平均すると10件を超える出動となり、10年前に比べ約23%の増加となっています。

搬送人員も前年より59人減少の3,541人となり、小松市民の約30人に1人が搬送されたこととなります。全体の搬送者のうち、約59%が高齢者となっています。

区分		年	平成28年	平成27年	増減
救急出動件数	合計		3,694	3,769	▲ 75
	急病		2,206	2,345	▲ 139
	交通事故		439	419	20
	一般負傷		559	527	32
	転院搬送		344	348	▲ 4
	上記以外		146	130	16
救急搬送人員	合計		3,541	3,600	▲ 59
	急病		2,107	2,238	▲ 131
	交通事故		443	424	19
	一般負傷		537	507	30
	転院搬送		344	347	▲ 3
	上記以外		110	84	26
別傷病搬送者人年齢	高齢者		2,089	2,124	▲ 35
	成人		1,130	1,136	▲ 6
	少年		159	147	12
	乳幼児		162	191	▲ 29
	新生児		1	2	▲ 1
搬傷病送程度人別	死亡		86	107	▲ 21
	重症		490	494	▲ 4
	中等症		1,316	1,392	▲ 76
	軽症		1,649	1,606	43
	その他			1	▲ 1

救助概要

平成28年の救助出動件数は61件で、前年に比べ9件増加しています。

交通事故による出動が37件と約6割を占めており、その他の事故が24件となりました。

出動件数のうち、救助活動件数は35件、救助人員は39人となり、前年より増加しました。

区分		年	平成28年	平成27年	増減
出動件数			61	52	9
活動件数			35	19	16
救助人員			39	22	17